

## 招待講演

# Distributed Digital Music Archives and Libraries Research Project

Prof. Fujinaga Ichiro

Centre for Interdisciplinary Research in Music Media and Technology (CIRMMT)  
Schulich School of Music, McGill University

The main goal of this research project is to develop and evaluate practices, frameworks, and tools for the design and construction of worldwide distributed digital music archives and libraries. Over the last few millennia, humans have amassed an enormous amount of information and cultural material that is scattered around the world. It is becoming abundantly clear that the optimal path for acquisition is to distribute the task of digitizing the wealth of historical and cultural heritage material that exists in analogue formats, which may include books, manuscripts, music scores, maps, photographs, videos, analogue tapes, and phonograph records. In order to achieve this goal, libraries, museums, and archives throughout the world, large or small, need well-researched policies, proper guidance, and efficient tools to digitize their collections and to make them available economically. The research conducted within the project will address unique and imminent challenges posed by the digitization and dissemination of music media.

世界中に存在するデジタル化された音楽資料のアーカイブとライブラリに関する研究プロジェクト

藤永一朗 准教授

マギル大学 シューリック音楽院 音楽メディア技術学際研究センター

この研究プロジェクトの目的は、世界中に存在する音楽資料をデジタルデータとして利用するアーカイブやライブラリについて、実施例や設計の評価を行い、実際の運用に必要な枠組を研究し、そのためのツールを開発することにある。数千年前から現在に至るまで、人類は膨大な量の情報と文化に関する記録を集積し続けている。これらの歴史的あるいは文化的遺産とも呼べる大量の記録は世界中に分散して存在し、存在する形態も書籍、手稿、楽譜、地図、写真、ビデオ、アナログテープ、蓄音機のレコードのように様々である。これらをデジタルデータとして利用できるようにするためには、世界中の各施設が協調してデジタル化処理を進めることが最適であることは明らかになりつつある。そして、実際に世界中の図書館や博物館および記録保管施設が行うデジタル化の作業は、所蔵するデータ量の大小を問わず適切な指針に従ってなされるべきであり、そのためには音楽資料の効率的なデジタル化と音楽資料への負担のないアクセスを可能にするためのツールが必要である。本研究ではこのデジタル化のための適切な指針について検討し、その指針を広く普及させるためのガイダンスを作成し、実際の作業や運用を効率的に行なうためのツールを開発する。音楽資料のデジタル化を普及させる本プロジェクトの研究は、他に類を見ないユニークな試みであるだけでなく、その実現がすぐに求められている重要な研究である。(訳: 武田晴登)

司会 片寄晴弘 (関西学院大学)  
日時 2009年2月18日 16:30 ~ 18:00